

君津市高潮ハザードマップ



君津市高潮ハザードマップは、水防法第15条第3項に基づき周知するもので、高潮による浸水のおそれのある区域を示した図面です。避難場所をはじめ避難に役立つ情報を掲載していますので、災害対策にご活用ください。

避難情報等が配信される
君津市メール配信サービスに
登録しましょう。

QRコード

t-kimitsu@sg-p.jp

君津市公式LINE、X(旧Twitter)でも
防災情報を発信しています。

QRコード

LINE @kimitsu_city
X(旧Twitter) @kimitsu_city

君津市が作成した
各種ハザードマップが
確認・ダウンロードできます。

QRコード



君津市

千葉県君津市久保2-13-1
TEL.0439-56-1351 (建設部管理課)

令和6年2月作成

ハザードマップの使い方

1 自宅を見つけましょう
自宅が高潮浸水想定区域等に入っていないか確認しましょう。

ぼく達の家はここだ

2 避難する場所を確認しましょう
高潮からの避難方法を確認しましょう。立退き避難が必要な場合を想定して、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどして災害時に備えましょう。

わたし達の避難場所はここね

3 安全な避難経路を決めましょう
災害時には通れなくなってしまう道もあるので避難経路を複数決めましょう。

危険なところは避けていこう

4 実際に避難経路を歩いてみましょう
家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう。

危ないところはないかな？

5 家族で災害時の対応を話し合いましょう
自分が避難する必要があるか確認しましょう
高潮の際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。

6 学校やご近所で考えましょう
地域の防災訓練に参加するなど、災害や避難についてご近所で話し合い、情報を共有しましょう。高齢者など、避難に援護が必要と思われる方についても、みんなでできることを考え、避難の際に協力しましょう。

高潮の危険が迫ったら

気象情報や避難に関する情報を確認しよう！

災害の危険性が高まると、防災行政無線などで「**避難情報**」を伝達します！

避難情報等

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
5	緊急安全確保 (君津市が発令)	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。
4	避難指示 (君津市が発令)	速やかに危険な場所から避難 しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。
3	高齢者等避難 (君津市が発令)	避難に時間を要する人(ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等)とその支援者は 避難 しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	高潮注意報 等 (気象庁が発表)	避難に備え、高潮ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認 しましょう。
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	気象情報をチェックするなど、 高潮に関する最新情報に注意 しましょう。

防災気象情報

警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル5相当情報 大雨特別警報(土砂災害)等
警戒レベル4相当情報 高潮特別警報・高潮警報等
警戒レベル3相当情報 高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い)等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

高潮注意報

台風や低気圧等による異常な海面の上昇により災害が発生するおそれがあるときに発表します。

高潮警報

台風や低気圧等による異常な海面の上昇により、重大な災害が発生するおそれがあるときに発表します。

高潮特別警報

数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により、高潮になると予想される場合に発表します。

高潮発生メカニズム

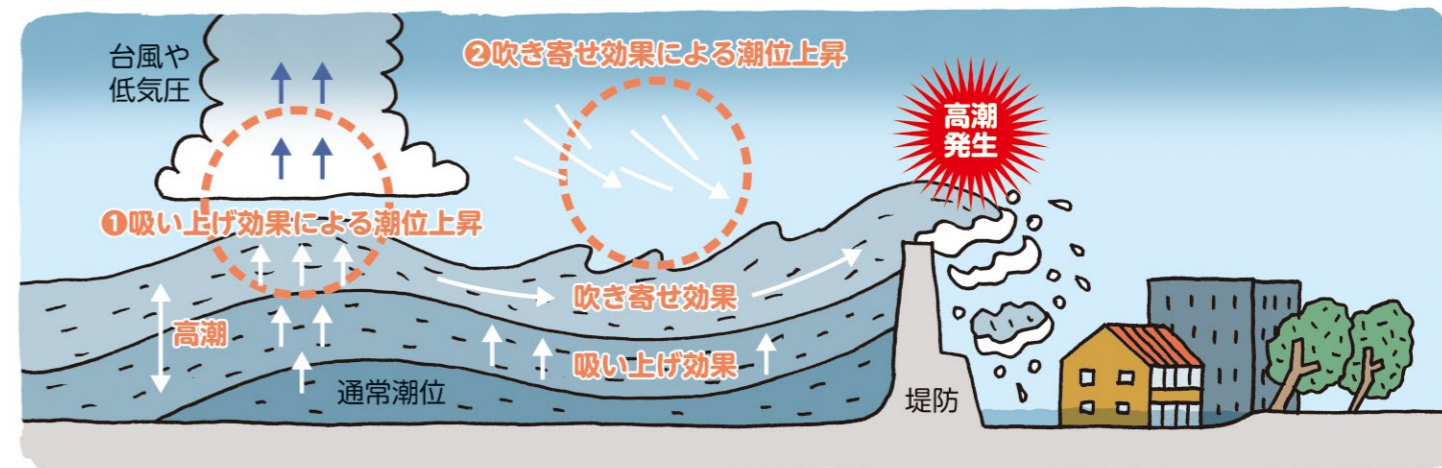
高潮は、台風や発達した低気圧が通過するとき、海面(潮位)が大きく上昇することで浸水被害を起こします。

① 気圧の低下による吸い上げ効果

台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する結果、潮位が上昇します。気圧が1hPa下がると、潮位は約1cm上昇します。

② 風による吹き寄せ効果

台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の潮位が上昇します。風速が2倍になれば潮位上昇は4倍になります。



高潮時の危険な場所と時間

次のような場所や時間は特に気を付ける必要があります。このような場所では避難する意識を持っておきましょう。

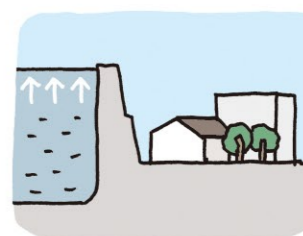
海岸近くの住宅

海岸近くの住宅は、台風などで高潮が発生した際海水が流れてきて、浸水被害を受ける可能性があります。



大潮の満潮時

台風の最接近時に高潮が発生しやすく、大潮の満潮時には、最も潮位が高くなります。両方が重なった時、高潮のリスクは最も高くなります。



避難時の心得

非常持出品の準備を

立退き避難をしなければならない場合に備え、避難時に持ち出す最低限のもの(食料・水・感染症対策物品など)をリュックなどに入れて、すぐに持ち出せるよう用意しておきましょう。



地域での助け合いを

高齢者や障がいのある方の中には、自らの力で避難することが困難で、手助けを必要としている方がいます。日頃から気にかけて、避難の際はみんなで助け合いましょう。



早めの避難行動を

高潮が発生する時間帯は台風の強風により避難が困難となります。安全に移動するため、テレビやラジオなどで情報収集し、早めの避難を心がけましょう。立退き避難が望ましいですが、浸水想定を踏まえ、自身の判断で屋内安全確保を行うこともできます。高潮は河川をさかのぼって氾濫することもあります。また、台風に伴う豪雨による洪水や土砂災害も起こる可能性があることにも留意しましょう。

複数の避難先確保を

高潮の場合は、地震(津波)と異なり気象情報等をもとに早めに避難することが可能です。避難指示等の発令を待つことなく、平時に決めておいた場所にゆとりをもって避難し、安全を確保しましょう。また、避難先については指定避難所だけでなく安全な地域にお住まいの親戚や友人宅、ホテルなども考えられます。